

<p>教育・保育理念</p> <p>・自分も友だちも大切に作る心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成</p>

<p>令和7年度重点内容</p> <p>・一人一人の人権を大切に、愛されていると感じ、自尊感情を育む</p> <p>・多様性を認め合い、意欲的に遊びを楽しみ、遊びを通して学ぶ</p> <p>・こども園、幼稚園、小学校が連携し、学びと育ちをつなぐ</p> <p>・地域とのつながりをより一層深める</p>
--

<p>園の重点項目</p> <p>一人一人の人権を大切にしながら、それぞれが認め合い、仲間とともに主体的に取り組み育ち合う力を育む</p>
--

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価		
さ れ 人 て 一 人 の 情 を と 人 育 感 を む じ を 、 大 切 に 感 愛	・乳児の担当制について学び、実施する	・大人との愛着関係や安心感のもと、人を信頼し生きていく力の土台を形成する	A	ゆ る や か な 乳 児 担 当 制 を 踏 ま え な が ら、 一 人 一 人 に あ つ た 関 わり や 言 葉 掛 け が で き る よ う、 担 任 間 で 情 報 共 有 し 役 割 分 担 を し て 丁寧な関わりを続けた。友だちとのトラブルの際は理由を知らせ一緒に考える時間を丁寧に持ったことで、約束やルール、友だちのことなど少しずつ受け入れられるようになった。年間を通して異年齢児と関わる機会を多く持ったことで、年上の友だちにあこがれの気持ちを持ったり、年下の友だちに優しく関わる姿が増え、少し我慢する心も育ってきた。	A A A B A A A A	
	・子ども自身が愛されていると感じられるようなていねいな関わりや言葉かけをする	・保育教諭との信頼関係を築き、一人一人の自尊感情を育てる	A			
	・異年齢交流の充実	・子どもの発達過程に応じ、個人差に配慮しながら思いを受け止め、発達を保障する。	・お互いのことを認め合い、人権を大切に作る心を育て、ともに育ちあう仲間づくりをめざす(国籍・ジェンダー・障害など)			A
		・異年齢交流を行う中で、憧れたり、思いやりの心を育てる	・異年齢交流を計画的にすすめ、互いに刺激を受けたり、自信がつく取り組みを行う			A
多 様 性 を 通 し て 学 ぶ 意 欲	・主体的に活動できる環境や教育・保育の充実	・園内研修でグループに分かれ計画や見通しを持って、園児の興味・関心に応じた教材の工夫や実践を出し合いながら学ぶ	A	5 歳 は 少 し 複 雑 な ダンスも出来るようになっていて成長が見られる。応援の声が大きく一体感があつた。写真は写っているだけで安心できる。若い保護者にとっても良いと思う。アナログも良いがこのような形も良い。	A A A A	
	キッズビューやフォトニュースの伝え方を園内研修で意見交流して学び、実践に活かす	・子どもが遊びたくなるような環境を整えていく	・園内研修で写真を使って書き方・伝え方を意見交流して学ぶ			A
		・保護者に教育・保育内容やこどもの姿を発信し、こどもの成長を共有する	・異年齢交流でサクランポリズムやふれあい遊び、アートヨガを行い、体幹を鍛え、しなやかな身体づくりをする			A
し こ 幼 小 が 連 携 を つ な ぐ	・小学校の授業参観への参加、また防災面での協力を仰ぐ	・授業見学をして小学校の教育について学び、理解を深める	A	こ ども園と学校の連携が深まった一年だった。避難訓練でも交流が出来た。今後とも継続して習慣化していきたい。	A A A A	
	・園の公開保育、就学相談等の機会に職員間で交流を図る	・災害時を想定して小学校へ避難する訓練を行い、子どもたちの防災意識を育む	・園外研修で写真を使って書き方・伝え方を意見交流して学ぶ			B
		・園の公開保育、就学相談等の機会に職員間で交流を図る	・園外研修で写真を使って書き方・伝え方を意見交流して学ぶ			A
地 域 と の つ な が り	・地域と交流をする	・子育てサロンに職員が参加したり、かるがも親子応援隊に年長児が参加して、地域の親子と交流をする	B	地 域 交 流 の 面 で は コ ミュ ニ ティとしての活動も取り入れてもらえるとうい(世代間交流や夏祭りなど)防災計画を整備し、避難連携についても意見交換していく。	B A A A	
	・地域子育て支援の取り組みをする	・太成学院大学との交流やおはなしスプーンの会の人たちに来てもらって交流をする	・園外研修で写真を使って書き方・伝え方を意見交流して学ぶ			A
		・地域の子育て機関と連携し園庭開放、ほっと預かり、リフレッシュ預かり、育児相談などを通して子育て支援に関わり遊びを提供する	・公開保育を行い、園の教育・保育について意見交流を行い、接続期の教育・保育の質の向上につなげる			B
		・散歩先で出会う地域の方に笑顔で挨拶したり、声をかけたり関わりを大切にする	・公開保育を行い、園の教育・保育について意見交流を行い、接続期の教育・保育の質の向上につなげる			A
職 員 の 上 を め ざ す 資	・公開保育・園内研修で実践検討等を行い教育・保育を学びあう	・互いの実践から学びあひ園の教育・保育について意見交流し、園の教育・保育の質の向上を図る	A	こ どもへの関わりについては、安全にまた主体的に生活できるように担任間で十分話し合うとともに、様々な職員と意見交換しながら進めてきた。受講した研修は職員会議で報告して内容を共有した。異年齢交流では他職員の実践を見て、自分の苦手なところへの対応力を学んだ。	A A A B	
	・職員同士のチームワークの向上を図る	・職員同士の交流や情報交換を円滑におこない、園児の学びと育ちをつなげていく	・園外研修や園外研修の情報交換を行い、園児の学びと育ちをつなげていく			A
		・理念や重点項目、指導計画、こどもの状況など職員同士が共通理解する	・園外研修や園外研修の情報交換を行い、園児の学びと育ちをつなげていく			A
		・園内研修や園外研修の情報交換を行い、園児の学びと育ちをつなげていく	・園外研修や園外研修の情報交換を行い、園児の学びと育ちをつなげていく			B

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育教諭や友だちの話を聞いたり、自分の思いを伝えたりして、友だちと関わっていく	相手の気持ちに気付いたり相談したり、気持ちを代弁してもらったりしながら、友だちや保育教諭と一緒に過ごす心地よさを感じられるようにする
異年齢交流の充実	様々な形態や時間帯など、子どもたちの姿その興味・関心に合わせて取り組み、優しい気持ちや達成感など感じられるようにする

園長より
<p>計画的に異年齢交流を行い、同年齢で過ごす時とは違う力を十分に身につけることが出来ました。暑さ対策で廊下を使った運動遊びを工夫したり、園庭に寒冷紗また廊下に扇風機を設置し安心・安全な環境を整えました。1年生の授業見学では、園での経験がどのように小学校へつながっているか再確認できました。次年度はジェンダー研修もより更なるチームアップを目指します。</p>